

第60回 試験研究成果発表会

(野菜Ⅰ)
(作物Ⅰ)

千葉県では、農林水産業に関する最新の試験研究成果を広く関係者の皆様にお知らせするとともに、皆様からの声を今後の研究に反映させるため、各部門・地域で成果発表会を開催します。

参加は無料で、事前申し込みも不要です。お気軽にご来場ください。

※ 座席数には限りがあるため、**当日先着120名様**とさせていただきます。

※ 令和5年2月下旬以降に、「千葉県公式セミナーチャンネル」にて動画配信する予定です。

日時: 令和4年11月30日(水) 13:00～16:30

会場: いいおかユートピアセンター 2階潮騒ホール(旭市横根 1365-25)

【プログラム】

発表1 炭酸ガス施用の効果を高める促成キュウリの環境制御

(13:10～13:35)

野菜研究室 大木 浩

発表2 ハウス抑制トマトの優良品種の選定(第72回全日本野菜品種審査会)

～黄化葉巻病に強く、多収の新品種～

(13:35～14:00)

野菜研究室 橋本 奈都希

発表3 盛夏どりメロンの高温対策技術

(14:00～14:25)

水稲・畑地園芸研究所 東総野菜研究室 鈴木 結花

発表4 イノシシ被害発生の要因となる景観構造

(14:25～14:45)

暖地園芸研究所 生産環境研究室 内田 耕陽

— 休憩 —

発表5 加工・業務用キャベツの端境期出荷に対応した貯蔵技術の確立

(14:55～15:15)

流通加工研究室 松本 浩平

発表6 「おおまさりネオ」と「Qなっつ」を活用したゆで落花生の栽培技術

(15:15～15:40)

落花生研究室 青柳 伸之介

発表7 作型に応じたニンジン根部しみ病害(乾腐病・しみ腐病)の防除手段

(15:40～16:05)

病理昆虫研究室 青木 由

発表8 秋まき冬どりダイコンの根重予測モデルの開発

(16:05～16:25)

最重点プロジェクト研究室 小林 孝太郎



促成キュウリ栽培



白黒ダブルマルチによる萎れ抑制
(左:慣行 右:白黒ダブル)



ゆで落花生の外観
(左:Qなっつ 右:郷の香)



ニンジン根のしみ症状

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、以下に該当する場合には
入場制限を実施することになりますので、御留意ください。

- 1 発熱(体温37.5度以上)、息苦しさ・強いだるさや、軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある方
- 2 新型コロナウイルス感染者の濃厚接触者であることが判明した方

※入場時の検温に御協力ください。

※御来場の際には、マスクの着用、社会的距離の確保、咳エチケットに御協力ください。

※会場は扉を開けた状態で換気を行いますので、暖かい服装でお越しください。

【会場のご案内】

JR飯岡駅から車で10分、県道飯岡一宮線沿い

【お問い合わせ先】

千葉県農林総合研究センター

水稲・畑地園芸研究所 東総野菜研究室(0479-57-4150)



会場住所 旭市横根 1365-25